※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅡ	単位数	1	年次	３年後期
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）						
副教材等	アクティブ・スポーツ　総合版（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

集団の一員であることを理解し、リーダーシップ・協調性・責任感、及び相手を思いやる心を身につける。体育の授業を安全に効率よく行うために必要なことを理解し、高校卒業後も生涯を通じてスポーツに親しむ習慣を身につける。

2　学習の到達目標

a 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解させるとともにそれらの技能を身につけさせる。

b 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することができるようにするための課題を発見させ、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断させる。

c 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することができるようにするために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、ひとり一人の違いを大切にする態度を身につけさせるとともに健康・安全を確保させる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけている。	生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することができるようにするための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することができるようにするために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、ひとり一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期 10月	サッカー	サッカー トラップ 各種キック ドリブル ヘディング 対人 1対1．3対3．5対5 ゲーム	a: ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、などについて理解している。 ・安定した各種ボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 b: ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c: ・サッカーに主体的に取り組むとともに、フェアなプレーやマナーを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人ひとりの違いに応じたプレーや挑戦を大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	実技テスト サッカー 筆記テスト サッカー・バドミントン・バレーボールの授業で伝えたポイント等	課題レポ (振り返りシート) サッカー 各種目でのポイントを踏まえて自分ができた点や改善点を書かせて提出	態度点 サッカー 授業観察による取り組み度の評価
後期 11月	バドミントン	バドミントン 各種打ち方 ハイクリアー ドライブクリアー ドロップ スマッシュ ヘアピン 各種サービス ロングハイサービス ショートサービス 各種ゲーム 縦長2分の1コートゲーム	a: ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、などについて理解している。 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 b: ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考	実技テスト バドミントン 筆記テスト サッカー・バドミントン・バレーボールの授業で伝えたポイント等	課題レポ (振り返りシート) バドミントン 各種目でのポイントを踏まえて自分ができた点や改善点を書かせて提出	態度点 バドミントン 授業観察による取り組み度の評価

※令和４年度以降入学生用

		シングルスゲーム ダブルスゲーム	えたことを他者に伝えている。 c: ・バドミントンに主体的にとりくむとともに、フェアなプレーやマナーを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人ひとりの違いに応じたプレーや挑戦を大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。			
後期 12月 ｜ 1月	バレ｜ボ｜ル	バレーボール 各種パス オーバーパス アンダーパス トス レシーブ スパイク オープンスパイク クイック サーブ ゲーム （4．6人制）	a: ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、などについて理解している。 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 b: ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c: ・バレーボールに主体的にとりくむとともに、フェアなプレーやマナーを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人ひとりの違いに応じたプレーや挑戦を大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	実技テスト バレーボール 筆記テスト サッカー・バドミントン・バレーボールの授業で伝えたポイント等	課題レポ （振り返りシート） バレーボール 各種目でのポイントを踏まえて自分ができた点や改善点を書かせて提出	態度点 バレーボール 授業観察による取り組み度の評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度